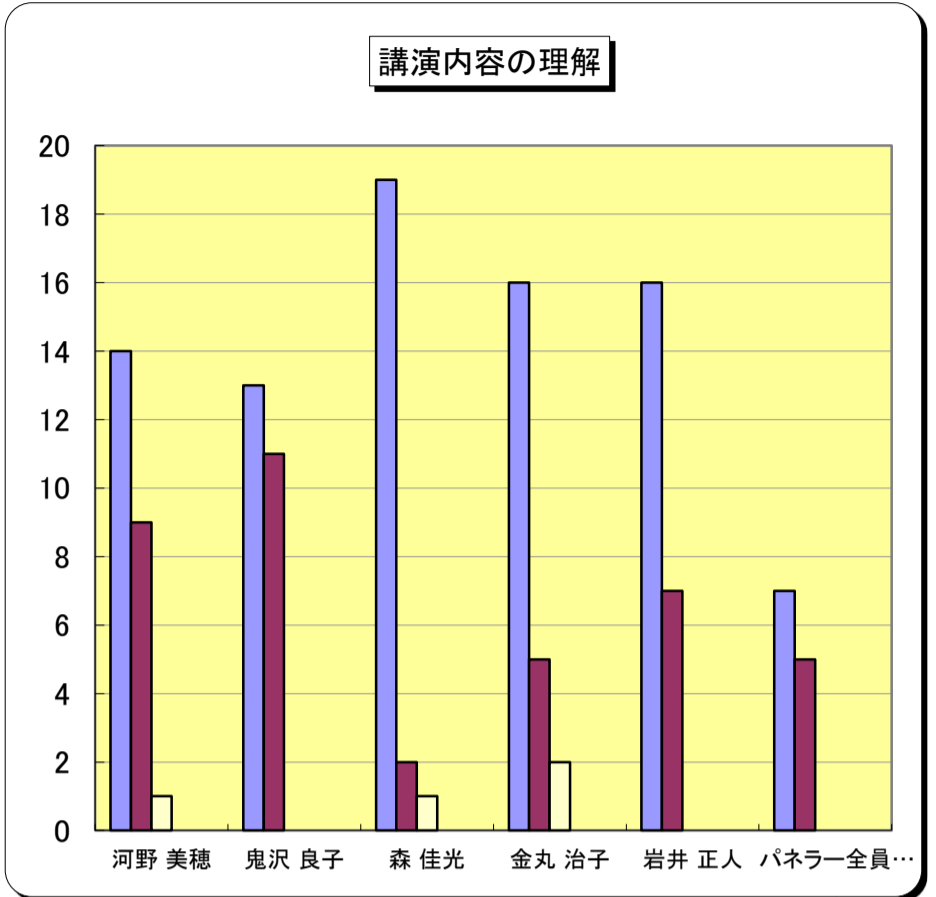
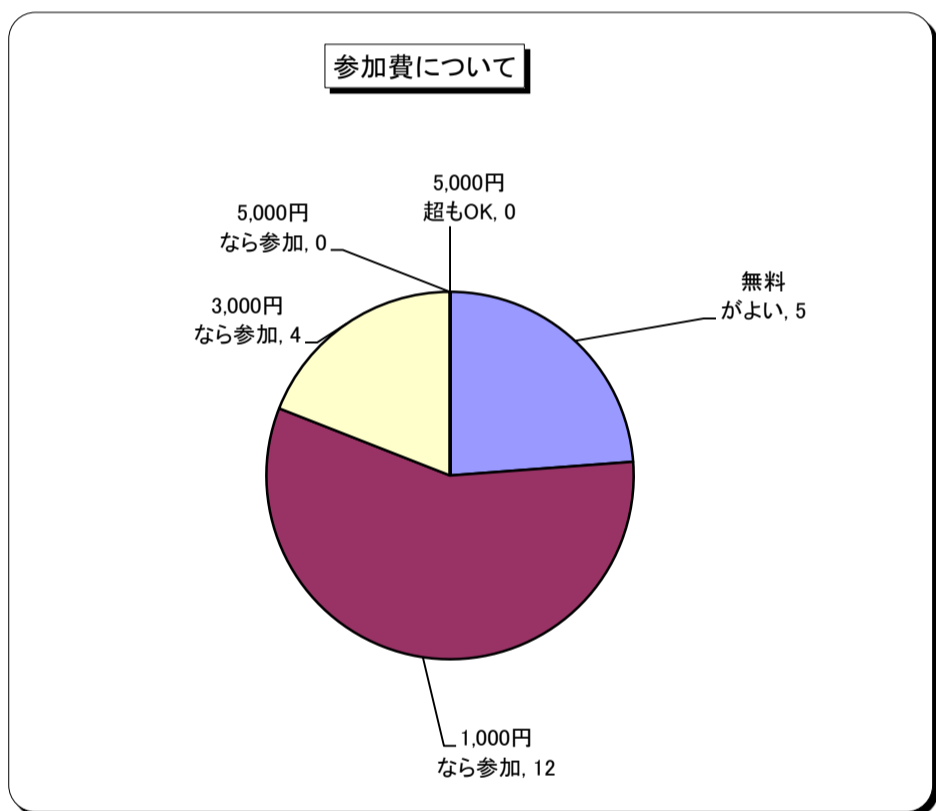


アンケート回収数24枚（参加者：63名、演者6名を除いた回収率：42%）

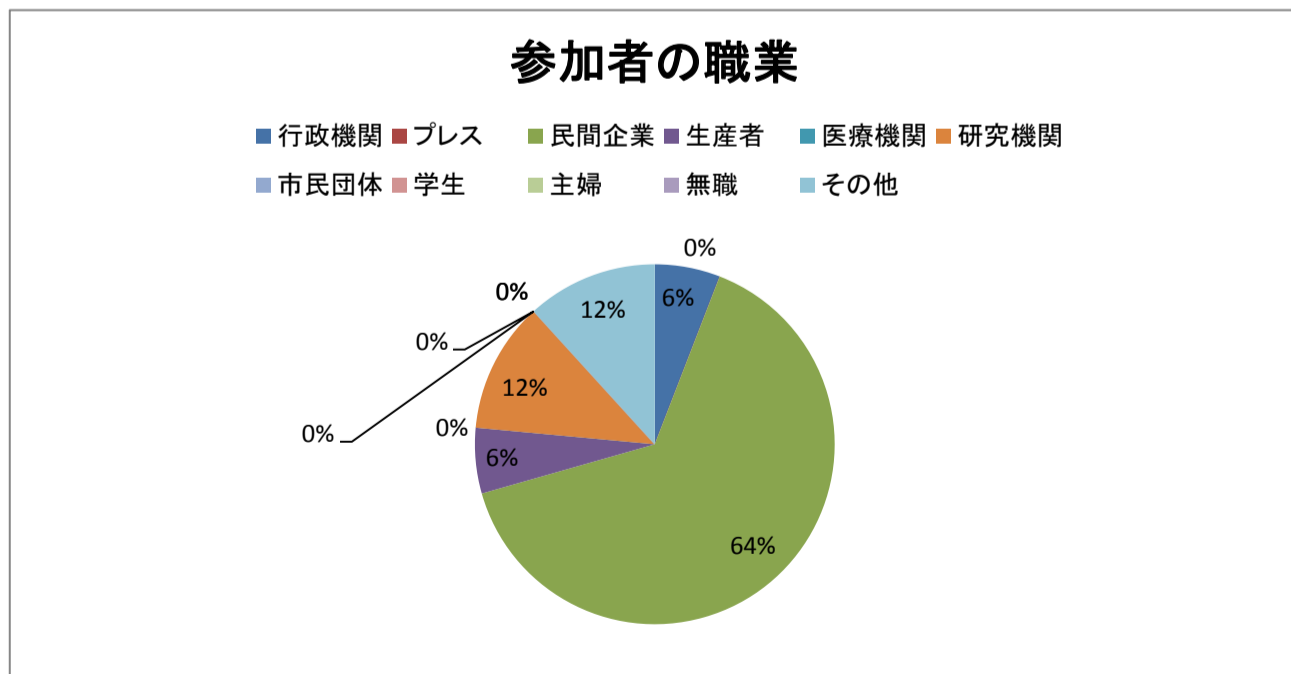
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	行政の取組	河野 美穂	14	9	1	0	0
2	2030年までにどれだけの食品ロスを削減できるかを問われている	鬼沢 良子	13	11	0	0	0
3	グループ理念に基づいた食資源の有効活用	森 佳光	19	2	1	0	0
4	持続可能な社会の実現をめざして～イオンの取り組み～	金丸 治子	16	5	2	0	0
5	マクドナルドの発生抑制の取組	岩井 正人	16	7	0	0	0
6	パネル・ディスカッション：『徹底討論！食品ロス』	パネラー全員 進行：山崎	7	5	0	0	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費（NPOへの賛助）についてどう思われますか？	5	12	4	0	0
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？	(別紙)				
国内の食品ロス削減に関して、いま最も有効と思われる対策は何でしょうか？	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先（郵便番号・住所・氏名・所属機関等）をご記入ください。	(別紙)				
当NPOからメルマガ（ご案内メール）を不定期に発行しております。無料購読を希望の方はメールアドレスをご記入ください。	(別紙)				



職業	人数
行政機関	1
プレス	0
民間企業	11
生産者	1
医療機関	0
研究機関	2
市民団体	0
学生	0
主婦	0
無職	0
その他	2



1	行政の取組	河野 美穂
2	国全体の取組の旗振り役としての考え方がよくわかったが、実現させ、しかも国民全員に発想の転換(リサイクルのように)させるにはまだまだ・・・	
4	行政からの働きかけは大きいと思います。	
5	行政としての取組が伝わった。	
6	事業者の立場から食べ切れる量(小分け)、消費期限では冷凍食品への取組での期限延長など、考えなければいけない問題が多いと感じた。	
8	行政の多様な取組がよく分かりました。	
12	様々な取組をまとめ発信する役割はわかった。実際に行政、一人ひとりが行政自体は何をしているのか(実践しているか)。まとめ発信は誰でもやろうと思えばできると思う。ためして、どうだったのか、フィードバックを教えてください。	
13	宴会で「飲み放題」が重視され、提供されたお料理を残してしまうことがあったので、次の機会より進んで「30・10運動」に取組みます。	
14	国や自治体の取組がわかった。国民運動まで広げられればと思った。	
17	食品ロスについての消費者庁の大きな役割2つのお話は、とてもわかりやすかったです。	
20	食べられる食品の廃棄が620万といわれますが、どのようなものが含まれるのか、どのように推計されているのかの説明がほしかった。	
23	消費者庁が官庁間の連携の役割を担っていることを知りました。もっと強力なリーダーシップ発揮を期待しています。	

2	2030年までにどれだけの食品ロスを削減できるかを問われている	鬼沢 良子
2	NPOの目標の定まった活動がよくわかった。	
4	良例を出していただき、とても参考になりました。	
5	オリンピックへの準備(HACCP等)に注目されているが、裏側(廃棄等)についても視点が必要ということがわかった。	
6	期限表示と包装容器の改良とは連携している。が、関心は高めつつはありがたいが、課題は多いはず。	
7	オリンピックの開催国の反省点は次の開催国にしっかり引き継ぎ、改善していくことが必要だと感じました。	
8	ロンドンオリンピックの件は勉強になりました。	
12	選ぶ権利は個人にあるため、ひとくりに言ってほしくない。どうして、消費期限の長めを買うのか、又は値引きを買うのか、人それぞれ背景・事情がある(言い方も人をまきこむポイントです)。容器が複合材質になってきているため(鮮度保存)、プラのリサイクルはできない。⇒焼却のみになっていて、結局は環境負荷。	
14	問題提起はわかったが、具体的活動が理解できなかった。	
17	「1人1人の行動が世界につながっている」という鬼沢さんのお言葉が印象に残りました。購買行動が社会を変える！	
22	発想の転換が必要と、再認識しました。	
23	活動内容は大変すばらしいと思います。東京オリンピックでも、一層の活躍を期待します。	

3	グループ理念に基づいた食資源の有効活用	森 佳光
2	事業者の取組がよくわかった。	
4	企業の取組として、とても参考になりました。特にサイズ違いの話は興味深い。	
5	どの段階でどのようにロスが発生しているのか、そのロスへの対策のプロセスが良く分かった。すごい。	
6	同じ事業者(中食業界)として分かり易かった。食品残渣の有効活用系として、その思いが伝わってくる内容であった。	
11	キューピーさんの具体的な取組を分かりやすくご講演いただき、大変参考になりました。	
13	最後のお話で、消費者が自ら責任をとろうとしないという考え方に共感。企業などに責任を押しつける人が増えている事も、今後の食育の課題。	
14	すごくわかりやすい説明。企業としての取組、今後の発展を期待。	
17	日本で生産される卵のうち、10%がキューピーさんで使用されているという割合の話はわかりやすく、大きなメーカー、たくさん原料を使うメーカーが取り組む影響は本当に大きいと思いました。	
20	メーカーとして資源循環を考えることは重要だと思います。家庭ではできない事を食品メーカーが加工することにより、残渣を利用できるというお話に共感します。	
22	消費者志向経営の1つとして、FAQなどホームページにのせられているので、その延長として賞味期限内で食べきれぬ工夫などものせたらどうでしょうか。	
23	キューピーのすばらしい活動を知る機会となりました。	

4	持続可能な社会の実現をめざして～イオンの取り組み～	金丸 治子
2	ウォルマートの事例のように、地域に大きな影響をもつ流通は、それぞれの地域の課題に合った方針・活動も必要ではないか。	
4	流通の中で、食品ロス削減に対して、トップメーカーとして頑張してほしいと思います。	
5	販売方法や期限表示等の工夫でロス防止になる事がわかった。	
6	店舗が大型スーパーが多く、その取組の影響度(消費型モデル)が大きい。規模が違うので、自治体との取組は効果が大きい。	
7	カット野菜を弊社グループで作っているのですが、賞味期限を延長する際にネックとなるのが、店舗での温度管理です。冷蔵庫をオープン系にせず、扉付きのクローズ系にしてほしいと思います。バリューチェーンでの連携を実現するためにも宜しくお願いします。	
11	どのように削減を努力されたのか、具体的な内容と廃棄物以外の件について、もう少しお話しできたく思いました。(店舗等においての)	
13	廃棄物ゼロに向けてのクローズドリサイクルループ、一企業だけでなく、各企業でも行えればいいですね。	
14	イオン小売業のトップとしての活動、感心しました。社会運動として、地域をまき込んだ活動に。	
20	メーカー⇒小売の納品期限の緩和も是非進めてほしいです。店舗での食品残渣収集時にビニール袋ごと収集し、破碎している映像は衝撃でした。	
22	イオンの中で、リサイクルするシステムを早く全国に広めてほしい。農家も高齢化で企業が農業をひっぱってほしいです。	
23	SDGsの先取りでの目標設定は流通大手として、大変すばらしいことだと思います。	

5	マクドナルドの発生抑制の取組	岩井 正人
2	店頭ではロスほぼないというお話に納得したが、そのための明確な考え方が、とてもわかりやすかった。	
4	イメージでは、時間が来たら捨てていると思っていたのですが、食品ロスに取り組んでいるとは知りませんでした。	
5	マクドナルドとしての取組、考え方(工夫等)は勉強になった。	
6	アレルゲンコンタミの防止策など細かい工夫がなされていると思う。中国の期限切れ食材の問題の解決方法を聞いたかったが・・・	
13	シュガー1つでも発生抑制に。買う側も一応もらっておくのではなく、不要なものは受取らない事が大切なですね。	
14	わかりやすい説明でした。品質保証体制の更なる強化を期待します。	
20	廃棄ロスの削減は利益に直結していると思います。MFYシステムは、とても良い取組だと思います。	
22	MFYにすることで、出来立てが食べられる消費者、ムダをなくせる企業で、お互いメリットで良いシステムと思いました。	
23	発生抑制の視点はすばらしい。	

6	パネル・ディスカッション： 『徹底討論！食品ロス』	パネラー全員進行：山崎
2	もう少し時間が欲しかった。	
5	表示(特に賞味期限)システム化、答えのない課題にどう対応していくのか、自分で考える、意見交換する場は大事と思いました。	
6	課題が多面的で面白い。	
11	ロス削減については、企業としての立場から苦慮しております。消費期限の製品を作っている事業者は、悩みが多くあります。パネルディスカッションは演者の型のご意見等とても参考になるものがありました。	
14	具体的な話が出てきて面白かった。	
22	進め方がよかったです、とても聞き易かったです。	
23	有意義でした。	

7	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	
1	とてもおもしろかったけど、正論と科学と「ふつうの」消費者をどう近づけるか課題は大きいです。コンビニについても(売り残ししない、割引で売り切り禁止)意見聞きたかったです。	
2	日本の食品ロスの実態がよくわかった。事業者の取組(意識も)は、かなり進んでいるが、家庭からのロスはまだまだ問題大。なんとか連携が進むとよい。	
3	一般の方が多く参加できるような日時・場所の検討をお願いします。	
4	東京オリンピックに向けて、食品ロスに日本全体として取組めたら良いと思います。	
5	とても勉強になりました。又、参加したいです。	
6	課題が大きいですが、これをきっかけに各自、各社で対応が深まると思います。	
7	河野様のお話の中でもありましたが、改めて色々な立場の人々・団体が連携していくことが大切だと実感しました。また、いかにお客様(消費者)の共感・理解を得られるか、啓発活動をしていただきたいと思いました。	
9	消費者の参加が少ない。	
10	面白かったです。また機会があれば、参加してみたいと思います。	
11	食品ロスについて、企業努力はすごいと思います。しかし、一般の消費者はどこまでロスに対する重要性や危機感を感じているのか、その現状が空まわりしないか、消費者教育の重要性を思いました。	
12	無料で行ってほしい。	
14	興味ある題材をありがとうございました。	
15	講師の立場の広がりがあり、複数視点からの課題が理解でき、有益であった。	
16	どの演題も良かったです。	
18	非常に良かった。	
19	食品ロス削減の前提の1つである、日本の食品ロスと世界の食糧不足とのギャップを解決する案を知りたかった。	
20	幅広く食品ロス削減に対する意見を聞くことができて、非常に有意義でした。	
22	いろいろなジャンルの演者の話が聞けてよかったです。	
23	大変すばらしいこと。行政～企業まで一同に会って討議すること。	
24	食品産業に関わる者として、フードロスに取り組む必要性をより感じました。	

8	今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？	
3	福島県の農産物に対する風評被害低減に向けたもの。	
7	本当の”環境配慮設計とは何か？”について	
9	食育。休日なので親子参加型のフォーラム	
12	ロス	
13	食品添加物、残留農薬が危険という誤解。	
14	アレルギー	
15	食リテラシー、メディアリテラシーの向上について	
19	・異物混入とメディア ・海外の食文化と安全	

9	国内の食品ロス削減に関して、いま最も有効と思われる対策は何でしょうか？
2	食品ロスだけでなく、SDGs=消費者市民社会に貢献する「かしこい消費者」像をつくる。
3	1/3ルールの廃止
5	リスクがどんなものか、お客様にきちんと伝えて、自分の対応に責任持てる環境作り。
7	「腹八分目」の浸透。飲食店(特にレストラン・飲み屋など)では、ファーストフードのような量の選択ができないので、コースメニューでも”少し物足りない”くらいの量を選択できるようにしたら良いと思う(健康面でも)
9	「もったいない=ケチ」の消費者イメージを変える為の一般向け啓蒙活動(メディア)
11	食品が多種類で、いつでも商品の欠品がないことが、ロス増大の1つになっていると思います。言いかえれば、品不足になっている状況を作れば、削減に有効かもしれませんが、これが良好の対策ではありません。人の欲望をいかにおさえるかということになるのでしょうか？！
14	子供の食育についての話が出ましたが、学校給食では栄養教諭は、がんばっています。少し勉強することも必要だと思いますが。
15	”食材ロス”かなり有効ではないか。
20	余裕をもって作る、欠品を避けるために多めに作るという社会の習慣をやめていくこと(?)
21	消費者の理解、寛容さが必要と感じます。
22	必要な分だけ買う、作る、頼む。業者はムダがあると分かっている所を問題と認識し、解決努力する。長期目標では食育で強化。
23	流通側の納品期限の見直しor撤廃する。